

One Drive「萌燎」の活用について

留萌市立港北小学校
北野茂樹

1. はじめに

留萌支部は南北に長く、北は天塩町啓徳小学校から南は増毛町増毛小学校まで、最短距離で約140kmもあります。管内の小中学校数は29校、事務職員配置校は27校です。協議会会員数は26名で、南中北3ブロックに分かれて研究を進めています。毎年11月に開催されている管内研究大会では、3ブロックと研究委員会がレポート発表を行い、活発な意見交流がされています。また、年に一度、全道協議会等から講師を招いて学校事務講座を行っています。

留萌市では、3年前にトップダウンによるミッション加配が中心校2校に配置され、現在、教員の負担軽減とホームページ作成等の業務に関わっています。

事務職員配置校は現在27校ですが、留萌市が提示した適正配置計画では3校が閉校予定で、天塩町の小規模学校も配置が難しくなると予想されるので、会員数の減少に伴う協議会運営の見直し等がこれからの課題と考えています。

2. 今回のレポートについて

今回のレポートは、留萌支部が取り組んでいるOne Drive「萌燎」に関する発表です。「萌燎」は、協議会情報や研究成果の集積並びに共有を目的とし、One Driveというマイクロソフトのクラウドサービスを活用したものです。会員の積極的参加を促し、各種の情報や各自の実践をクラウド上のフォルダにアップロードをしています。さらに、各種情報の迅速な周知を目的にOutlook.comを活用し、会員の知りたいことや伝えたいことの伝達手段としています。今回は、このことについて、実践報告をさせていただきます。

3. 「給与・旅費の手引」がはじまり

以前、留萌支部では、留萌教育局との共同編集で、「給与旅費の手引」を作成し、印刷製本したものをファイルに綴じて会員に配布していました。費用は教育局が負担していました。しかし、その後教育局が編集から手を引き、費用の負担もしなくなったことから、協議会が自前で編集し会員に配布する必要に迫られました。作成費用の削減を考え、最初はCDで配布していましたが、条例、規則の改正が相次ぎ、そのたびにCDで配布するのは、費用の面からも作業労力の上からも大変になってきました。

そこで注目したのが、その頃出てきたクラウドサービスでした。無料であったこと、ある程度の容量があることから、マイクロソフトのSky Driveを利用することにしました。

4. One Drive「萌燎」とは

マイクロソフトをはじめとするクラウドサービスは次のような特徴があります。

- 写真やビデオを友だちや家族と共有できる。
- クラウド上に仕事上のデータを保存し場所を選ばずパスワードを知る誰もがアクセスできる。
- ある程度の容量までは無料で使用できる
「萌燎」はこれを利用し、情報の共有化等をめざしています。

5. Sky Drive「萌燎」の登場

2009年4月にSky Drive「萌燎」を立ち上げました。

—クラウドサービスを選んだのは、

- ホームページを作成するよりも作業の手間が格段に少ない。
- 専門的知識がなくても、誰でも作成できる。
- データ流出の危険性は少ない。
- 情報の共有化はもとより、情報の双方向のやりとりの可能性が広がる。

「Sky Drive上に協議会の情報共有の場を設けよう」'09,4,21～別冊資料～

「Sky Driveの使い方基礎講座」
'09,8,26 1 ページ目～別冊資料～

6. Sky DriveからOne Driveへ「萌燎」の変遷

「萌燎」の立ち上げ当初は、アクセスやダウンロードができなくなる不具合が頻発したり、個々のパソコンの性能により、アクセスやダウンロードに時間がかかることが頻発しました。また、自動的に作成されていた更新情報が突然なくなったりするということがありました。

2012年8月にSky DriveはOne Driveに変更され、「萌燎」もこれに合わせて全面リニューアルすることになりました。

7. One Drive「萌燎」の現在

One Drive「萌燎」の目次～別冊資料～

では、実際にご覧いただきましょう。

8. One Drive「萌燎」の成果と課題

(1) 成果

- 多くのものが利用し、情報の共有化がある程度図られた。
- すぐれた実践の紹介
「私の実践」「保護者向け事務だより」や掲載された事務だより等を通してすぐれた実践が紹介できた。
- 研究の集積
研究大会レポート、学校事務講座資料等で容易に研究の足跡を振り返ることができるようになった。
- 豊富な実務資料
五つの手引、すぐに使えるエクセル様式集、実務資料等、量・質とも充実している。
- メールの活用
Outlook.com（アウトルック）を用い、会員誰もがメールのやりとりや一斉送信ができる。

(2) 課題

- 新しいものに拒否感があったり、閲覧することが面倒だと思い利用しない人が存在する。
- 双方向の情報のやりとりまでには至っていない。
- 実践等をアップロードをするものが少数しかいないうえに固定化している。

9. 今後に向けて

7年目となる現在の形ですが、実務の面でわからないことがあった時などの情報が一括管理されているため大変役立っています。

また、事務だより等他人のすぐれた実践を参考に実践している人もいます。

さらに、メールを通して情報が早く入ってきますし、編集委員会が各種手引きを定期的に更新しているため、制度の変更や事務処理等に早期対応できています。

昨年からは、新採用研修会の時にOne Drive「萌燎」を活用し、新採用者は実際にパソコンを操作しながら研修を行いました。今後も広く啓蒙しつつ、全ての会員の交流の場となるようにしていきたいと考えます。

冒頭にも書きましたが、極小規模になりつつある留萌支部。会員の交流を今以上に深めることが重要で、その結節点となるのがこのOne Drive「萌燎」と考えています。また、次の世代につなぐ資料の集積のためにも今後も充実させていきたいと思えます。

少ない会員数であるからこそ出来る団結力で、会員全員による一方的ではなく双方向の情報交流をさらに活発なものにしたいと考えます。これからの協議会発展のために・・・